

目 次

目次欄（青字）をクリックすると、該当ページに移動します。

出席委員	1
臨時委員長	3
予算審査特別委員長の選挙	3
予算審査特別委員会副委員長の選挙	4
財務課の予算審査	5
税務課の予算審査	13
収納対策室の予算審査	17
総括質疑及び現地調査箇所を選定	19

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS 第1水準漢字」を使用しています。

このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる標記となっている場合があります。

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日木曜日分）

令和3年 利府町議会予算審査特別委員会会議録（第1号）

令和3年3月4日（木曜日）

出席委員（16名）

委員長	伊勢英昭君	
副委員長	西澤文久君	
委員	今野隆之君	渡邊博恵君
	鈴木晴子君	伊藤司君
	坂本義也君	安田知己君
	木村範雄君	土村秀俊君
	高久時男君	及川智善君
	永野涉君	遠藤紀子君
	渡辺幹雄君	鈴木忠美君

欠席委員（1名）

羽川喜富君

説明のため出席した者

副町長	櫻井やえ子君
財務課	
課長	後藤仁君
財政経営班長	谷津匡昭君
財政経営班主幹	鈴木崇裕君
財政経営班主任主査	浅野智寛君
管財契約班長	星浩幸君
管財契約班主幹	加藤兼征君
管財契約班主幹	大和田浩史君
税務課	

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日木曜日分）

課	長	折 笠 ゆき江	君
町 民 税 班	長	吉 田 雄 一	君
町 民 税 班 主 幹		加 藤 典 子	君
固 定 資 産 税 班 長		鈴 木 厚 広	君
固 定 資 産 税 班 主 幹		土 屋 俊 介	君
固 定 資 産 税 班 主 幹		伊 藤 めぐみ	君
収納対策室			
室	長		
兼 収 納 整 理 班 長		鈴 木 啓 義	君
収 納 整 理 班 主 任 主 査		蜂 屋 雄 輔	君
収 納 整 理 班 主 査		内 田 由 希 子	君

事務局職員出席者

事 務 局	長	庄 司 英 夫	君
主	幹	大 枝 大 将	君
主 任	主 査	姉 崎 裕 子	君
主	事	赤 間 浩 大	君

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日木曜日分）

午前11時50分 開会

○議会事務局長（庄司英夫君） それでは、引き続き予算審査特別委員会を開会いたします。

初めての委員会ですので、利府町議会委員会条例第7条第2項の規定により、**年長の鈴木忠美委員に臨時の委員長をお願いいたします。**鈴木忠美委員、よろしくお願いいたします。

〔臨時委員長 鈴木忠美君 登壇〕

○臨時委員長（鈴木忠美君） 鈴木忠美です。規定により臨時委員長の職務を行います。どうぞよろしくお願いいたします。

ただいまから予算審査特別委員会を開催します。

本日の会議を開きます。

ただいまの出席委員は16名です。

これより**予算審査特別委員長の選挙**を行います。

お諮りします。選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定によって指名推選したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○臨時委員長（鈴木忠美君） 異議なしと認めます。

したがって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定しました。

お諮りします。指名の方法については、臨時委員長が指名することにしたと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○臨時委員長（鈴木忠美君） 異議なしと認めます。

したがって、臨時委員長が指名することに決定しました。

委員長に伊勢英昭君を指名します。

お諮りします。ただいま指名しました伊勢英昭君を委員長の当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○臨時委員長（鈴木忠美君） 異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名しました伊勢英昭君が委員長に当選されました。

ただいま委員長に当選された伊勢英昭君が議場におられます。会議規則第31条第2項の規定

によって当選の告知をします。

委員長と交代します。

〔委員長 伊勢英昭君 登壇〕

○委員長（伊勢英昭君） ただいま予算審査特別委員長に選出されました伊勢英昭です。

委員各位の特段の御理解と御協力を賜り、委員会の円滑な運営に努めてまいりたいと思えます。よろしくお願ひ申し上げます。

それでは、これより**予算審査特別委員会の副委員長の選挙**を行います。

お諮りします。選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定によって指名推選にしたいと思えます。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 異議なしと認めます。

したがって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定しました。

お諮りします。指名の方法については、委員長が指名することにしたいと思えます。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 異議なしと認めます。

したがって、委員長が指名することに決定しました。

副委員長に西澤文久君を指名します。

お諮りします。ただいま指名しました西澤文久君を副委員長の当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名しました西澤文久君が副委員長に当選されました。

ただいま副委員長に当選された西澤文久君が議場におられます。会議規則第31条第2項の規定によって当選の告知をします。

次に、審査日程についてお諮りします。

審査日程については、お配りしました審査日程表により進めたいと思えます。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日木曜日分）

○委員長（伊勢英昭君） 異議なしと認めます。

したがって、審査日程については、お配りしました審査日程表のとおり進めてまいります。

ここで昼食のため休憩します。再開は13時00分とします。

午前11時55分 休憩

午後0時58分 再開

○委員長（伊勢英昭君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

審査に入る前に申し上げます。質疑に当たっては1人2問から3問程度とし、それ以上の質疑がある場合には質疑が一巡した後にお願いします。また、質疑の際は分かりやすく簡潔にお願いします。さらに、質疑が重複しないようできるだけ関連質疑で対応するようにお願いいたします。

それでは、審査日程表により**財務課の予算審査**を始めます。

所管事項の内容を説明願います。財務課長。

○財務課長（後藤 仁君） それでは、財務課所管の令和3年度当初予算の内容について御説明を申し上げます。

利府町各種会計予算説明書①一般会計を準備願います。

4ページをお開き願います。

2款の地方譲与税につきましては、国内経済の落ち込みに伴う国税の減収見込みを想定するとともに、宮城県からの見込額通知からそれぞれ計上しております。

次、5ページを御覧ください。

6款法人事業税交付金につきましては、交付金の財源となる法人事業税の減収を見込みまして、前年度費400万円減の2,500万円を計上しております。

8款ゴルフ場利用税交付金につきましても、利用者の減少を見込み前年度比300万円減の2,000万円を計上しております。

6ページをお開き願います。

12款2項1目新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金につきましては、地方税法の課税標準の特例による固定資産税の減収分が国から全額交付されることから1,000万円を計上しております。

7ページ御覧になってください。

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日木曜日分）

13款1項1目地方交付税でございますが、1節普通交付税につきましては、町税等の減収分が増える見込みであることから、前年度より1億円増の8億円、特別交付税につきましては、震災復興特別交付税が皆減となることから、前年度より1億6,000万円減の1億5,000万円を計上しております。

8ページをお開き願います。

16款1項1目1節行政財産使用料のうち庁舎等使用料の65万1,000円につきましては、銀行ATMや自動販売機などの設置に係る使用料を計上しております。

19ページをお開き願います。

19款1項1目1節土地建物貸付収入733万8,000円につきましては、飯土井住宅跡地や旧役場庁舎プレハブ棟などの貸付による収入が主なものでございます。同じく2目利子及び配当金につきましては、それぞれ基金の預金利子を計上しております。

20ページをお開き願います。

20款1項1目1節一般寄附金2億5,000万円でございますが、ふるさと応援寄附金につきましては、町内の地域資源や観光資源を活用した返礼品の追加と、シティーセールスと併せた首都圏等へのPRを積極的に推進していくこととし、前年度比1億5,000万円の増額を見込み計上しております。

次に、21款2項1目1節財政調整基金繰入金8億723万6,000円につきましては、財源調整のための財政調整基金と公債費の償還に充当するために、計画的に繰り入れる減債基金をそれぞれ計上しております。同じく3目1節公共施設整備基金繰入金8,450万円につきましては、説明欄に記載の2つの事業にそれぞれ計画的に充当するものでございます。

21ページを御覧ください。

同じく6目1節東日本大震災復興基金繰入金325万2,000円につきましては、東日本大震災の復興創生期間が令和2年度までとなっており、事業の完了に伴う東日本大震災復興基金交付金の返還金に充当するものでございます。同じく7目1節ふるさと応援寄附金繰入金1億6,000万円につきましては、全国の皆様から頂きました寄附金を目的に応じ、子育て支援事業をはじめとする記載の7事業に充当するものでございます。

次に、歳出について御説明申し上げます。

29ページをお開き願います。

2款1項3目財政管理費8,049万9,000円につきましては、前年度より1億760万3,000円

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日木曜日分）

の減となっております。その主な要因といたしましては、組織改正に伴いふるさと応援寄附金事業費を7款の商工費に組み替えたことによるものでございます。

31ページをお開き願います。

2款1項5目財産管理費3億4,046万5,000円につきましては、役場庁舎や町民交流館、公用車、公有財産の維持管理に要する経費を計上しております。昨年度と比較し1億5,917万2,000円の増となっております。その主な理由でございますが、まず33ページ、12節、こちらのほうに生涯学習センター解体工事に係る施工管理業務委託、それから14節工事費に生涯学習センター解体工事費を計上したことによるものでございます。

次、80ページをお開き願います。

7款1項3目地域振興費中、ふるさと応援寄附金事業分といたしまして、10節需用費に修繕料、11節役務費にクレジットカード決済手数料、12節委託料にふるさと応援寄附金支援業務委託料、17節に備品購入費、24節積立金にふるさと応援寄附金への利子及び予算積立金として、これら合わせて総額で2億5,000万2,000円を計上しているところでございます。また、令和2年度で大きな効果が見られました首都圏版の新聞広告掲載業務委託をさらに拡充するとともに、業務量の増加に伴い会計年度任用職員3名分の人件費を計上しております。

113ページをお開き願います。

12款1項公債費1目元金10億1,084万5,000円でございますが、前年度より5,199万5,000円の増となっております。その主な要因といたしましては、利府小学校建設事業や文化複合施設整備事業に充てた起債の償還開始に伴い増額となっております。

114ページをお開き願います。

同じく2目利子22節償還金利子及び割引料9,289万8,000円でございますが、前年度より2,542万6,000万円の減となっております。

以上が財務課所管の予算の説明でございます。御審議のほどよろしく願いいたします。

○委員長（伊勢英昭君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。3番鈴木委員。

○鈴木晴子委員 それでは、1点お伺いいたします。

21ページお願いいたします。21款2項のふるさと応援寄附金繰入金のほうでございますけれども、それぞれ1億6,000万円各事業に割当てされているところではございますが、この割当てされたパーセンテージ的にどのような割り振りの仕方の中で割り振りをしたのか、ちょっとお

伺います。

○委員長（伊勢英昭君） 答弁、谷津班長。

○財務課財政経営班長（谷津匡昭君） 鈴木委員の御質問にお答え申し上げます。

まず財源の充当の仕方でございますが、こちらに関しましては、まず寄附者のほうからの使途のほうの指定があったものに関しましては、その用途に合わせて財源の充当をさせていただいております。例えば、子育て支援事業であれば子ども医療費助成事業、また教育保育施設等第3子以降の給食費助成事業などに充てております。また、高齢者福祉事業につきましては、シルバーパス事業、そして観光振興事業につきましては、観光PRやフェスティバル、ふるさとPR事業等に行っており、スポーツ振興事業につきましては、東京オリンピック推進事業、文化振興事業に関しましては、文化交流センターの備品購入や、埋蔵文化財公開活用事業などに充当しております。農林水産振興事業につきましては、利府梨品種更新推進事業、そして安全・安心まちづくり事業につきましては、除融雪機械の更新事業などに充てているところでございます。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） 再質問、鈴木委員。

○鈴木晴子委員 寄附者の意向によりしっかりと分けているということでございますが、この寄附者の意向というの見方として、令和元年度の実績、どういうふうに見るのでしょうか。その部分をお伺いしたいと思うんですけれども、そうすると令和元年度ですと災害復旧のためにということで、約99件の寄附があったわけで、その中で今回の事業の中に災害復旧の項目がなかったことが寄附者の意向が反映されていないような感じもするんですけれども、どこか別な事業として組み込まれているものなのかお伺いします。

そして、もう一つ農林水産業のほうも金額的にはもう少し寄附者の意向を反映されてもよかったのかなという思いもあるんですけれども、その辺お伺いいたします。

○委員長（伊勢英昭君） 当局答弁、谷津班長。

○財務課財政経営班長（谷津匡昭君） 再質問にお答えいたします。

まず、災害復旧関係でございますが、やはり寄附金に関しましては、宛先のほう指定されておりますが、実施事業がない限りは充当できないということですので、今後もし令和3年度中に災害関係とかそういったもので充てられるものがあれば、充当していくことになるかと思えます。

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日木曜日分）

また、災害の補助金を頂いたりとか、補助金を頂く場合などは特定財源として充てたものを差し引いたものの充当率というか掛けたものになってしまいますので、なるべく町独事業として行う事業とかに充てていくということで、有効活用を図っていきたいというふうに考えております。

○委員長（伊勢英昭君） 答弁。後藤課長。

○財政課長（後藤 仁君） お答えします。

今令和元年度分の災害復旧費ということでの御質問にお答えします。

実は令和元年度で途中まで頂いていた寄附金につきましては、台風19号の災害復旧のほうに既に充当をさせていただいているところでございます。

以上でございます。

○委員長（伊勢英昭君） 再々質問、鈴木委員。

○鈴木晴子委員 この項目は災害復旧と復興のためというふうにはなっておるんですけども、復興というのは年度の災害だけではなくて、今までの復興というふうな形の中での部分として充てていくという考えも必要なのではないかというふうに思うんですけども、その部分お伺いしたいことと、それから子育てについて大分大きく予算を取っているように、パーセンテージ的に実際の寄附は40%ぐらいとか、30%ぐらいが子育てになっている中で、今回は70%と大分大きく取っているように感じている部分であります。子育てのまちの利府町としてその姿勢は間違いのないものなのかなというふうな考えもありますけれども、やはり寄附者の意向としてこのような形で出ている部分、もう少し反映できたらよかったのではないかというふうには思っております。

それから、この事業に対してこのぐらいの寄附がありましたということは今公開されているんですけども、このような事業に使いましたというような内容のホームページでの御紹介というふうなものも検討していただきたいと思いますが、その辺お伺いいたします。

○委員長（伊勢英昭君） 当局答弁。後藤課長。

○財政課長（後藤 仁君） お答えいたします。

これからもこれまでもなんですが、やはり寄附者の意向に沿った形で充当をさせていただきたいという気持ちには変わりございません。

それから、その次の質問でございますが、事業の充当先について、もちろん今後ホームページ、そういったもので検討するようになる、検討してまいります。また、寄附者のほうに対し

ては、次の年の寄附のこともありますので、報告のほうは寄附者に対しては今実施をしているところでございます。

以上でございます。

○委員長（伊勢英昭君） ほかに質疑ございませんか。13番及川委員。

○及川智善委員 19ページお願いします。

財産収入の中で、土地建物貸付収入が去年と比較して125万8,000円減額となっています。この予算の原因は、土地の評価額が下がった、増減があったのか、それとも貸していた人の件数が減ったのか、その辺についての説明をお願いいたします。

○委員長（伊勢英昭君） 答弁。星班長。

○管財契約班長（星 浩幸君） お答えいたします。

減額の理由でございますが、こちらについてはTDCさんのほうにお貸ししている土地の地代が12月末で切れるということで、令和3年度については1月から3月分が収入として入ってこないということで、その分が減額になった理由でございます。

以上でございます。

○委員長（伊勢英昭君） 再質問、及川委員。

○及川智善委員 それでは、去年で貸付は終わったということですのでよろしいですね。12月、ごめんなさい。それで確認したのは、あれは10年契約で貸付しているということで、ちょうど10年目にあたり、12月にもし契約更改するのであれば、それについては確約、お互いにもう合意しているという考え方でよろしいんですか。甲乙の契約者で。その説明を。

○委員長（伊勢英昭君） 当局答弁。後藤課長。

○財政課長（後藤 仁君） お答えいたします。

これまでもTDCの関係につきましては、御説明をさせていただいているところでございますが、10年の契約満了が本年の12月末でございます。本年の12月末の契約に際して何度か調整をさせていただいております。売買契約のほうで今お話のほうを進めさせていただいております。そういうことから来年1月以降、12月末で賃貸契約を終了し、1月以降は売買契約とのことで相手先のほうに移管されるというのが今調整をしているところでございます。

以上でございます。

○委員長（伊勢英昭君） 再々質問、及川委員。

○及川智善委員 その場合のTDCの今現在貸付で契約している分の全面積が売買ということで

よろしいですね、確認いたします。

○委員長（伊勢英昭君） 当局答弁。後藤課長。

○財政課長（後藤 仁君） 及川議員お見込みのとおりでございます。

○委員長（伊勢英昭君） ほかに質疑ございませんか。12番高久委員。

○高久時男委員 それでは、79ページ、3目の地域振興費なんですけれども、去年はゼロということなので、去年はなかった目名だと思います。2億9,000万円予算組みしていますけれども、その中の1億2,500万円、これがふるさとの積立金ということなんですけれども、全体的な事業がちょっとどういうものをやるのかというのが、多少は理解できるんですけども、その辺をちょっと説明お願いできますか。何かお試し20みたいなやつとか、あとtsumikiの予算とか入っているんですけども、これは恐らく科目、節を移動したのかなとは思うんですけども、あと新聞広告掲載というやつ、たしか去年は無料でやっていたよね、無料。無料と聞いたんですけども、新聞広告、読売か何かで、違ったの。500万円。500万円かかっているんだ。すっかり俺無料かと思っていた。新聞広告の内容、その辺も含めて金額入っていないので、まだ決定していないんだろうけれども、どのぐらいの広告の範囲とか、その辺をちょっとお知らせしていただきたいということと、最近ふるさと応援寄附金のやつだとネット関係で結構やっているのがありますよね。何ふるとかというやつ、さとふる、そういったものなんかも考慮はしたのかどうか。その辺だけお願いします。

○委員長（伊勢英昭君） 当局答弁。後藤課長。

○財政課長（後藤 仁君） お答えいたします。

今回の地域振興費3目については、組織改編に伴って来年4月1日から新たに設置されるものでございます。こちらの主な内容につきましては、シティーセールス関係、そちらのほうを集約しているというようなイメージでございます。ですから、現担当課、担当班の中の財務課所管のふるさと応援寄附金がこの部分に来ていると。あと政策、秘書政策室所管の部分のtsumiki関係がここに集約されているということでございます。

それから、新聞広告料なんですけど、昨年度はコロナ創生交付金事業を活用させていただいております。当時予算のほうの計上は500万円を計上させていただいております。1社でございます。実際の予定額はもっと下がっているということでございますけれども、今回この500万円、正確には440万円なんですけれども、かけて首都圏のほうに広告をさせていただきました。その成果として今回の2倍を超える、狙いどおり首都圏からの件数が大幅に増えております。とい

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日木曜日分）

うことから、ぜひ来年はもう少し、もっと広告を増やして今ここに金額がないんですが、2社分を計上してございます。そして、さらに応援寄附金のほうの拡充を図りたいというものでございます。そのほかにも今入ってくる分もある分、出ていっている分もあると思うんです。そちらのほうはまだ今年度の課税状況のところ、数字が出てくるかと思うんですが、そういったことも想定されるので、やはり我々としては何もしないで手をこまねていると入ってこない、やはり何か手を打たなきゃない、一番効果のあった新聞広告というのは、やっぱり継続したいという意向でございます。

以上でございます。

○委員長（伊勢英昭君） 再質問。高久委員。

○高久時男委員 分かりました。頑張ってくださいなと思っております。

あと1点だけ、7節の中でふるさと応援寄附金返礼品報奨金となっているんだけど、82万円、これ恐らく返礼品は相当3割くらい返すという前提で行くと、結構な金額になるから、違うやつだと思うんだけど、これはどういう内容なのか、ちょっとその辺だけ、それで終わりにします。

○委員長（伊勢英昭君） 谷津班長。

○財務課財政経営班長（谷津匡昭君） それでは、再質問のほうにお答え申し上げます。

こちらのほうに関しましては、町が主体となりまして返礼品として行いまして、1日町長、またJRのほうの見学ツアーのほうの記念品ということになっております。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） 再々質問。高久委員。

○高久時男委員 というのは、今言った1日町長とかJRのどうのこうのというやつは、通常の返礼品とは違うふうな扱いをしているということ。

○委員長（伊勢英昭君） 後藤課長。

○財政課長（後藤 仁君） お答えいたします。

通常の返礼品につきましては、先ほどすみません、ちょっと答弁漏れしておりましたけれども、さとふる、楽天、ふるさとチョイス、そちらのほうに委託を契約しているところでございます。こちらのほうは事業者関係のほうの返礼品の取扱をしてもらってございます。

今班長のほうの答弁した1日町長体験、それからJRの新幹線車両基地のほうの見学は町のほうが主体にしてやっているものでございますから、業者委託ではなくて町で直営でここに計

上しているというものでございます。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 質疑がありませんので、以上で財務課の予算審査を終わります。

当局は退席願います。

ここで暫時休憩します。

再開は13時35分とします。

午後1時25分 休 憩

午後1時32分 再 開

○委員長（伊勢英昭君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

審査日程表により**税務課の予算審査**を始めます。

所管事項の内容の説明を願います。税務課長。

○税務課長（折笠ゆき江君） 初めに、このたび私事でこの場で説明をする御配慮をいただきまして、ありがとうございます。この場をお借りして御礼申し上げます。

それでは、令和3年度税務課所管の当初予算につきまして、一般会計予算説明書①により御説明申し上げます。①となっております予算説明書をお願いいたします。

こちらの1ページをお開きください。

初めに、歳入であります。歳入歳出予算事項別明細書の表中1行目1款町税であります。前年度と比較し町税全体で2億7,143万2,000円の減額となっております。その内容につきましては、1款1項町民税から5項の入湯税まで現年度課税分について御説明申し上げます。

3ページをお開きください。

1款1項1目1節個人町民税現年課税分については、16億9,358万4,000円で、前年度と比較し1億8,916万円の減額となっております。続きまして、2目1節法人町民税現年課税分につきましては、1億8,734万4,000円で前年度比較6,806万6,000円の減となっております。要因といたしまして、個人町民税及び法人町民税ともに新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う個人所得の減及び休業等による事業収益の減によるものです。

次に、2項1目1節固定資産税現年課税分につきましては、21億2,167万8,000円で前年度と

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日木曜日分）

比較し、1,592万4,000円の減となっております。その主な要因といたしまして新型コロナウイルス感染症経済対策における特例軽減措置による減額となっております。

次に、1款3項軽自動車税でございます。1款3項1目環境性能割につきましては192万円で、前年度と比較し、106万9,000円の増となっております。前年度の実績見込みにより計上しております。同じく2目1節種別割現年課税分につきましては、8,795万4,000円で118万7,000円の増となっております。

4ページをお開きください。4項1目市町村たばこ税につきましては、1億3,577万4,000円で計上しており、前年度と比較し65万2,000円の減となっております。要因といたしましては、健康志向の向上により喫煙者が減少するものと考えております。5項1目入湯税につきましては、11万7,000円で前年度の実績見込みにより計上しております。

次に、6ページをお開きください。

11款1項1目国有提供施設等所在市町村助成交付金につきましては、前年度の交付実績により30万円で計上しております。

次に、10ページをお開きください。

16款2項1目1節税務手数料の諸証明交付手数料につきましては、101万3,000円で前年度の実績見込みにより計上しております。

次に、18ページをお開きください。

18款3項1目4節徴税費委託金につきましては、5,690万円で県民税徴収取扱費として、宮城県からの通知実績額を計上しております。なお、町税等の積算詳細につきましては、別にお配りしております当初予算関係補足説明資料の9ページから22ページに記載しておりますので、後ほど御確認願います。

続きまして、歳出の御説明を申し上げます。

38ページをお開きください。

2款2項1目税務総務費でございますが、1億5,088万1,000円で計上しており、前年度と比較し3,256万7,000円の増で、町税付加業務に要する経費を計上しております。増額の主な要因としましては、令和3年度からの組織改正により職員増となったため給料職員手当等共済費の人件費で3,990万5,000円の増となり、また12節委託料では764万9,000円の減額となっております。これは、3年ごとの固定資産評価替えの業務を令和2年度中に実施したことにより、業務量が減となったことによるものであります。そのほか18節負担金補助金及び交付金では12万

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日木曜日分）

9,000円の増、内容としましては宮城県軽自動車等運営協議会と環境性能割徴収取扱費で増額、22節償還金利子及び割引料につきましては、前年度実績により1,640万円を計上しております。

以上が税務課所管の令和3年度当初予算の概要になります。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○委員長（伊勢英昭君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。12番高久委員。

○高久時男委員 1点だけお伺いします。4ページ、入湯税なんですけれども、前年の実績に基づいて11万7,000円という予算組みなんですけれども、昨年も11万7,000円なんです。見たらその前もそうだし、実績というとまだ令和2年度終わっていないので、実績出ないと思うので、過去のやつ令和元年の実績見たら、23万9,000円あったんですね。だから、これでいくとほぼ倍、細かいことなんですけれども、やっぱり実績に基づいてある程度の推測で予算を組むのであれば、ここは20万円ぐらい組んでもいいんじゃないかなと思うんですけれども、その辺はどうなんだろう、あくまでも予算は予算なんですけれども、でも余り倍ぐらい違った実績に基づいた金額から倍も違うと、精度というかその辺が問題だと思うので、その辺のさっきおっしゃった実績に基づいてというのが令和2年度の実績なのかどうか、その辺確認をお願いします。

○委員長（伊勢英昭君） ただいまの質疑に対し、当局答弁願います。当局答弁、鈴木班長。

○税務課固定資産税班長（鈴木厚広君） お答え申し上げます。

実績につきましては、令和2年度分も元年度と加味して実績とさせていただきます。令和元年度23万9,000円でございますけれども、町内で2業者営業していた関係、あとコロナの影響が出ていないというふうな状況もございました。それで、令和3年度につきましては1業者が廃業しております、コロナの影響も勘案してこの金額を計上させていただきます。以上です。

○委員長（伊勢英昭君） 再質問なしね。では、ほかに質疑ございますか。13番及川委員。

○及川智善委員 それでは、2点お伺いします。今の入湯税の関係なんですけれども、これ前年並みということで今議論ありました、やり取りありましたけれども、道珍坊温泉は令和元年の台風、大雨の被害で営業を停止しているはずです。私令和2年度の予算編成のときも申しあげましたけれども、予算編成のときに2業者の分をやっているということだったんですが、もう既に廃業しているのに、なぜ2業者分やっているのかということだったんです。今年度も2業者分の対象にした予算編成をしているということなので、その辺の考え方は実績でさっき高久

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日木曜日分）

委員からありましたけれども、二十数万円あったということなんです、1業者だとずっと減ると思うんです。ただ、予算編成で2業者を対象にしてまた今年もやったのかなと、こういうふうなことなんですけれども、その辺についての説明一とお入り。

それから、あと固定資産税ですね、補足説明資料の10ページでちょっと話したいと思うんですけれども、固定資産税10ページにありますけれども、現年度分2のところ、現年度分課税分と滞納繰越分と合わせて固定資産税は20億3,000万円のところ、21億4,600万円のところ20億3,000万円ということで減額になっていきますけれども、1,600万円ほど。それで、お聞きしたいのはコロナとかいろんなそういう影響があるということで、大筋のところは理解しているんですけれども、今年利府イオンがオープンして、かなり巨大な施設になっているんですけれども、あそこの分の固定資産税の収入については、今年度の予算編成に見積もり入れなかったのか、対象にならなかったのかどうか、その辺についてお伺いします。

○委員長（伊勢英昭君） 2点質問がございました。1点目、答弁願います。伊藤主幹。

○税務課固定資産税班主幹（伊藤めぐみ君） 1点目についてお答え申し上げます。

令和3年度につきましては、委員御指摘のとおり、1社については廃業届けが出ておりますので、残り1社、うちみ旅館の沢乙温泉分を計上させていただいております。それで、予算のほうなんですけれども、やはりコロナウイルス感染症の観点から、令和2年度につきましては、4月、5月と休業されていた時期とかもありまして、そのことを加味しまして令和3年度につきましては予算のほうを計上させていただいております。

○委員長（伊勢英昭君） 2点目、答弁。土屋主幹。

○税務課固定資産税班主幹（土屋俊介君） 2点目の固定資産税についてお答えいたします。

当初予算の減額になった主な理由ですが、コロナの関係ですとか、あとは今年3年に一遍の評価替えの年なので、家屋の経年劣化等の減額でございまして、御質問いただきましたイオン新棟なんです、賦課期日時点の1月1日現在に完成しておりませんので、令和3年度は課税対象となっておりません。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） 再質問、及川委員。

○及川智善委員 入湯税については説明は分かったんですけれども、やっぱり対象、予算の関係組むときには現実としてもう1年半以上前に廃業しているわけですから、1業者に絞ってということでもう少し精査された予算の計上の仕方したほうがよかったのかなというふうに思いま

す。

それから、固定資産税については今答弁ありましたけれども、イオンについては今年は対象にならないということで理解しましたけれども、対象になった場合、どれくらいの税収が見込まれるのか、固定資産税、あそこ巨大な施設なものですから、ちょっと参考までに答弁願いたいと思います。

○委員長（伊勢英昭君） 当局答弁願います。土屋主幹。

○税務課固定資産税班主幹（土屋俊介君） お答えいたします。

調査自体がこれからなので、はっきりしたことは申し上げられないんですけども、前のイオンとといいますか、北館のイオンが課税された当時は1億円近い税収があったので、それと同等ぐらいはあるのではないかと思います、実際ちょっと調査してみないと何とも言いえないところではあります。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 質疑がありませんので、以上で税務課の予算審査を終わります。

当局は退席願います。

ここで暫時休憩します。再開は14時とします。

午後1時50分 休 憩

午後1時57分 再 開

○委員長（伊勢英昭君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

審査日程表により**収納対策室の予算審査**を始めます。

所管事項の内容を説明願います。収納対策室長。

○収納対策室長兼整理班長（鈴木啓義君） それでは、収納対策室所管の令和3年度当初予算につきまして、各種会計予算説明書により御説明申し上げます。

収納対策室所管の業務につきましては、町税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の徴収事務を所掌しておりますので、滞納整理額について各種会計を合わせて御説明申し上げます。

それでは、各種会計予算説明書①の一般会計の3ページをお開きください。

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日木曜日分）

初めに、歳入予算についてでございますが、1款1項町民税1目個人2節滞納繰越分につきましては、1,091万3,000円で前年度と比較し、10万5,000円の増額となっております。同じく2目法人2節滞納繰越分につきましては、12万2,000円で前年度と比較して3万9,000円の増額となっております。同じく2項1目固定資産税2節滞納繰越分につきましては、848万8,000円で前年度と比較し14万5,000円の増額となっております。同じく3項軽自動車税2目種別割2節滞納繰越分につきましては、68万8,000円で前年度と比較し11万5,000円の増額となっております。

なお、歳入予算の算定根拠につきましては、当初予算補足説明書資料の23ページ、24ページに記載しておりますので、御確認願います。

続きまして、歳出につきまして御説明申し上げます。

40ページをお開き願います。

2款2項2目徴収費でございますが、1,503万6,000円を計上しており、前年度と比較して3,969万円の減額となっております。減額の主な要因としましては、令和3年度組織改正に伴いまして職員人件費が6名減となっております。12節委託料401万5,000円につきましては、コンビニ収納における交付金収納業務委託に要する経費となっております。今後につきましても、納税者の利便性向上のため、スマホ決済などキャッシュレス化を推進しながら、納付環境の整備を図ってまいります。

以上が一般会計における予算の説明でございます。

続きまして、各種会計予算説明書②特別会計について御説明申し上げます。

予算説明書②の3ページをお開きください。

国民健康保険特別会計につきましては、1款1項1目一般被保険者国民健康保険で4節医療給付費分滞納繰越分につきましては、1,435万6,000円で前年度と比較し20万4,000円の増額となっております。同じく5節後期高齢者支援金分滞納繰越分につきましては、548万3,000円で前年度と比較し10万円の増額となっております。同じく6節介護納付金分滞納繰越分につきましては、227万5,000円で前年度と比較し4万1,000円の増となっております。

続きまして、25ページをお開き願います。

介護保険特別会計につきましては、1款1項1目第1号被保険者保険料2節滞納繰越分保険料につきましては、148万7,000円で前年度と比較し34万9,000円の増額となっております。

続きまして、49ページをお開き願います。

後期高齢医療特別会計につきましては、1款1項2目普通徴収保険料2節滞納繰越分につき

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月4日木曜日分）

ましては、62万5,000円で前年度と比較し26万5,000円の減額となっております。滞納繰越分の予算につきましては、前年度の徴収額を参考に算出しております。

以上が令和3年度の収納対策室所管の予算の説明でございます。御審議のほどよろしく願います。

○委員長（伊勢英昭君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 質疑がありませんので、以上で収納対策室の予算審査を終わります。

当局は退席願います。

それでは、最終日に総括して質疑する事項の取りまとめ及び現地調査箇所の選定を行います。質疑あるいは御意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 総括質疑及び現地調査がないようですので、これで本日の予算審査特別委員会を散会します。なお、明日は午前9時30分から特別委員会を開催しますので御参集願います。

御苦労さまでした。

午後2時05分 散 会

上記会議の経過は、事務局長庄司英夫が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するためここに署名する。

令和3年3月4日

臨時委員長

委員長